

## 笹子峠-大沢山北東尾根

- ◆日程 2016年4月30日(土)
- ◆メンバー L: 小林
- ◆天候 快晴

丹沢: 黍殻山の藪コースをメールで募集した。合宿に参加出来ない方を想定したが募集が直前でもあり連絡は無かった。そこで眺望を望めるコースを考える。笹子雁ヶ腹摺山周辺と絞り甲斐大和駅から大沢山-本社ヶ丸の計画書を提出した。距離が長く途中下山かなあ、と思いつつも頑張りそうと出かける。

甲斐大和駅は大和村が甲斐市になった頃だろうか無味乾燥とした甲斐大和と駅名が変わってしまった。「初鹿野」という響きの良い駅名が使われなくなったのは残念だ。こちら側の日川は大菩薩から流れて富士川となる、反対側の笹子川は桂川となって相模川に注ぐ。峠の稜線に降った雨は全く異なった水系となる分水嶺なのである。「縦走」とは異なった水系を越え、山稜を越えて行く事だと思う。

甲斐大和駅に降り立つと大菩薩方面のバスを待つ多くの人でビックリした。私のみ誰も居ない方向に行く。2.5万圓を頼りに送電線がある尾根に取り付く。東電の巡視路があると踏んで笹子峠で登山道に合流する尾根を登路にした。快晴の爽快な歩きが続く。

カヤノキビラの頭の手前は大菩薩の素晴らしい眺望点であった。大菩薩嶺から小金沢山、黒岳、右には滝子山まで一望である。

綺麗なカヤノキビラで少し早いがお楽しみの昼食タイムにした。飲み食いしていると時間が早い。でも先は長いのでのんびりはして居られない。この辺りは昔ながらのブナ、ミズナラ、落ち葉のフカフカ、本当に楽しい歩きである。ミツバツツジの群落も目を楽しませてくれる。

さすが予定の本社ヶ丸まで時間的に無理、大沢山から北東尾根を使って下山する事にした。下山2時間と読んで山頂を後にする。この尾根は昔、歩いており問題無い。時々コンパスと地図で位置確認をしながら走るように降りた。国道に出たからは頑張って走り笹子16:20の電車に乗る事ができた。大沢山から1時間半だった。

私の考えたコースは人も少なく綺麗な自然で楽しませてくれた。今頃は大菩薩では人、また人だったろう。静かで自然が満載コースは幾らでもあるのだが、ね。

CT: 甲斐大和 7:57-登山道 10:00/10:15-カヤノキビラの頭 11:43/12:35  
-大沢山 14:42/14:48-笹子駅 16:20

(記: こばやし)





カヤノキビラの頭付近では大菩薩から滝子山まで大きな山容が望める。



静かなカヤノキビラの頭



ボッコの頭で直角に曲がる